

こんにちは いつもお世話になっております

三栄です

新任のご挨拶

株式会社三栄サービス
代表取締役社長



紺野 琢生

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。前任の紺野武郎に代わり、代表取締役社長に就任することとなりました。つきましては、若輩微力ではございますが、社業発展のため精一杯努力してまいりますので今後一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年の東京オリピック開催が決定し、経済の動向としては明るい兆しでございますが、10年後には新聞がなくなるのではないかという

まことしやかな予測もあり、活字離れやペーパーレスの進行による紙の使用量の減少により、古紙業界としては扱い量や市場規模の縮小傾向に頭を悩ませているところですが、前回号でも取り上げたように、自治体や団体の皆様の財産である資源物を

不法な持ち去り業者の手から守る活動や、リサイクル可能な品目の拡大など、今後の会社の、業界の未来を見据えた経営戦略をとってまいりたいと考えております。

結びになります。三栄サービスの財産は、『ひと』そして『ひととひととのご縁』だと考えております。当社の経営理念である、『三つの繁栄』の意味するところに則り、お客様、社員と家族、地域社会の皆様と

第25号

発行元

株式会社
三栄サービス

東村山市
久米川町
1-16-5



IPSuS 0002394

もに歩んでまいりたいと考えておりますので、今後とも末永いお付き合いのほど、よろしくお願ひ申し上げます。

※なお、前任の紺野武郎は代表取締役会長に、専務取締役の津田猛男は留任となりました。引き続き宜しくお願い致します。

フリピピンリサイクル事情視察報告

去る一〇月初旬に、東資協主催の視察旅行でフリピピンに行つて参りました。日本から輸出された中古の自転車、家電、雑貨の流通について現状を視察するのが目的です。初日、かって子供たちがごみの山からリサイクルできるものを拾っていたスモークーマウンテンの跡を視察、その後現在のゴミ処理場を視察しまし



ごみ処理場へ向かう道。

た。マニラ市街からの道中には、未だにスカベンジャーと呼ばれるごみから資源物を拾う人たちが貧困層の方々の住むバラックが続いていました。現地の方々はとても陽気で、カメラを向けてもいやな顔もせず、むしろ私たちが通りかかると気さくに手を振って来ます。その明るく逞しく生きているさまには、こちらが元気を頂きましたし、もっと物を大切にしないと身につまされる思いがしました。その後、現地のジャンクヤードや、富裕層向けのリサイクルショップ、中古品のオークション会



オークション会場の様子

場などを見て回り、日本の中古品の需要が非常に高いことがわかりました。日本国内でもメイドインジャパンより中国製が目立つようになりましたが、PL法の関係もあり、同じ中国製でも日本で流通しているものはしっかりしているもので、人気なのだそう。つまりは『フロムジャパン』がブランドになっていくと、品が、現地で廃棄物になるのだけは避けなくてはいいませんが、まだまだ大事に使って頂けるものが我が国には眠っているようですね。